

はえなわ漁業で水揚げされたトラフグの全長組成

福島県水産資源研究所 資源増殖部

1 部門名

水産業—資源管理—延縄

2 担当者名

伊藤貴之

3 要旨

本県で漁獲量が急増しているトラフグについて、漁獲実態を明らかにし、資源管理方策検討の基礎資料とするため、漁獲物の全長組成を整理した。漁期年によって漁獲物の全長組成は大きく異なっていたが(図1)、各漁期年の月別全長組成の推移に大きな変化はみられなかった(図2)。漁期年による全長組成の違いは、新規加入と成長による可能性が考えられた。

- (1) 2022年9月～2025年2月に週1回の頻度で、相馬原釜魚市場においてトラフグはえなわ漁業で水揚げされたトラフグの全長を測定し、漁期年(9月～翌年2月)ごと、月ごとの全長組成を整理した。
- (2) 2022年漁期は全長40～50cmが中心で、全長50cm以上の個体も比較的多かった。2023年漁期は全長35～40cmの群が新規加入したと考えられた。2024年漁期に主体となった全長40～45cmの群は、2023年漁期に新規加入した群が成長したと考えられた。(図1)
- (3) 漁期年別・月別全長組成の推移から、漁期中は大きく成長しないと考えられた。また、漁期序盤の全長組成から、その漁期年全体の組成を推定できると考えられた。(図2)

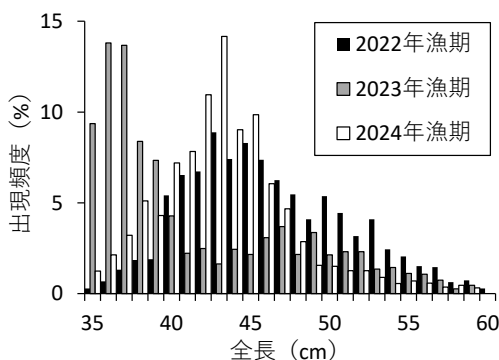


図1 漁期年別全長組成

※相双地区のトラフグ延縄漁業では、全長35cm以上の個体を水揚げ対象としている。

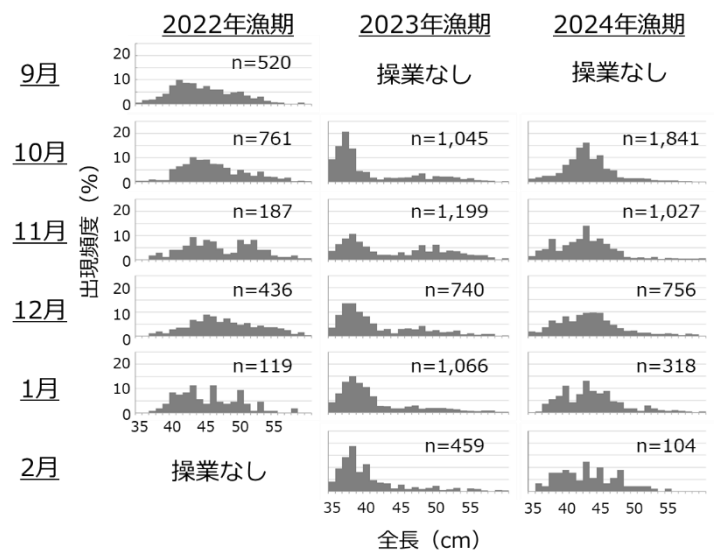


図2 漁期年別・月別全長組成

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明

5 主な参考文献・資料

なし